

トゥモロービジネスタウン仮設住宅

炊き出しと**無料**大バザー

24日

この日のバザーには、東京・神奈川・千葉の各都県から70名を超えるボランティアが集まり、もつ煮井・おはぎ・けんちん汁の炊き出しと、500人に支援物資をお届けしました。集まった入居者からは、冬服や、暖房器具の要望がたくさん寄せられ、「市や仮設住宅を作った会社は、『人が生活すること』を考えて作ったのだろうか。自分でも住みたいと思う家を作ってほしい」「生きるのに必要な食料品の店がない。行政は『生活する』ことまで考えているのだろうか」との声がよせられました。



バザーに並んだ自転車。タイヤなどはすぐ乗れるように整備されています。

今回は、要望の多かった自転車をお届けしました。石巻対連に寄贈されたものですが、バザーに出してもらえらることにになりました。10台の自転車に対して、80名の応募がありました。



三浦一敏党救援センター（石巻）本部長は、バザーの中で「日本共産党は、目の前で困っている人を助けてこそ政党であると肝に銘じて活動しています。みなさんと一緒に復旧・復興にむけて頑張ります。」と訴え、生活での苦難やご要望を聞きました。

頼られている。だから頑張れる

台風直前 中里、緑町で側溝泥出し



(←写真は緑町)

20日、台風の風雨が強まる中で、ご要望を受けて泥出しを行いました。この地域は、泥出しは、ほぼ手つかずの状況で、何重にも汚泥の層ができています。新しい層が出ると、ヘドロの強い臭いがします。21日は、中里で「側溝から臭いがするので」とご要望があった側溝の泥出しを行ないました。

女川町で緊急泥出し
台風15号により、深刻な浸水被害が出た女川町で泥出しの要望があり、泥出しを行いました。畳を上げて、床板をデッキブラシで掃除しました。